

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	行政文化センター駐車場改善事業			事業番号	32-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	総務部	安藤 隆幸	管財契約検査課	瀬尾 篤	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
予算事業名	庁舎維持管理費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	平成29年度
関連法令等	地方自治法、伊勢原市公有財産規則				
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	行政文化センター地区は、市役所や市民文化会館など様々な施設が立地しており、駐車場不足による混雑状態が多く発生しています。				
目的 (何をどうしたいのか)	・駐車場不足による混雑解消のため施設整備を行い、施設利用者の利便性向上を図ります。 ・目的外利用者の排除により実駐車台数を確保します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	駐車場利用者				
事業内容 (手段、手法など)	・有料化の実施は、今後混雑状況を見極めた上で検討し、「目的外利用者の排除」や「駐車場不足の解消策」に取り組みます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	目的外利用者の排除	実施	取組の検証		
	駐車場不足の解消策	実施	取組の検証		
	駐車場の有料化	調査・検討	調査・検討		
協同病院との相互利用	事業者調整	事業者調整			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	行政文化センター駐車場の混雑日数	121日	100日	90日	

 事業実施 (Do) へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・目的外利用の排除については、引き続き駐車場開場時の市庁舎警備員による利用者動向調査を継続します。 ・文化会館臨時駐車場の有効利用と混雑時の誘導を徹底し、混雑緩和を図ります。 		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	目的外利用者の排除	実施	実施
	駐車場不足の解消策	実施	実施
	駐車場の有料化	未実施	未実施
	協同病院との相互利用	未実施	未実施
実施した取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場開場時の利用者動向調査を実施するとともに駐車場混雑時における文化会館臨時駐車場を有効利用し混雑緩和を図りました。 ・駐車場の改修工事を実施し、駐車区画3台分を増設しました。 		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
			29年度
	行政文化センター駐車場の混雑日数	121日	139日

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		775	千円	3,726		千円			
内訳	国県支出金 ①	0	千円	0		千円			
	地方債 ②	0	千円	0		千円			
	その他特財 ③	0	千円	0		千円			
	一般財源 (a)-①-②-③	775	千円	3,726		千円			
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期					
	その他								
人件費	正規職員	0.28	人	2,422	千円	0.30	人	2,619	千円
	その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.28	人	2,422	千円	0.30	人	2,619	千円
トータルコスト (a)+(b)		3,197	千円	6,345		千円			
単位当たりコスト	対象数	市民		単位		市民		単位	
	定義								
	対象数	101,635	人	102,037		人			
	総事業費 / 対象数	31	円	62		円			

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左記判断理由	駐車場混雑が予測される日程においては、事前に文化会館臨時駐車場を開放し誘導案内するとともに正面駐車場に新たに駐車区画3台分を増設しましたが、混雑解消には至りませんでした。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	平塚市では、庁舎及び文化ゾーン各駐車場を有料化しています。秦野市では、庁舎用駐車場の一部立体化をするなど駐車台数の増加を図っています。厚木市では、庁舎用駐車場の他、厚木中央公園地下駐車場の駐車場整理券を所用の課に見せると市役所で手続き等に要した時間分の無料駐車券を配布しています。
有効性 [選択・記入]	<input type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input checked="" type="radio"/> 低い (C)	C	左記判断理由	駐車場不足の解消対策として、既存駐車場を拡張したものの、規模が小さく混雑の緩和に至りませんでした。
効率性 [選択・記入]	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input checked="" type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	C	左記判断理由	文化会館臨時駐車場の有効利用、目的外利用者排除だけでは、催し物や事業実施時、現在の駐車収容台数では対応できない状況のため、一部立体化や臨時駐車場の確保をする必要があります。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	文化会館臨時駐車場の有効利用、目的外利用者の排除及び各施設間における事業の重複回避のための施設間調整を実施しても駐車収容台数に不足が生じています。
次年度以降の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 目的外利用の排除については、引き続き駐車場開場時の市庁舎警備員による利用者動向調査を継続します。 引き続き文化会館臨時駐車場の有効利用と混雑時の誘導を徹底し、混雑緩和を図ります。 駐車場満車に伴う周辺道路の混雑解消策を検討します。
所管部長による総評	現状の利用形態では混雑時に空き駐車区画を即座に把握できず、その影響で後続車が渋滞することとなっているため周辺道路の渋滞も招いています。駐車場利用者がスムーズに駐車可能となり、駐車場内通行路に車輛が滞留しない方策などを検討し、来庁者の利便性向上を図る必要があります。